

東光高岳とユビ電、充電認証課金コントローラ「WeCharge HUB」を協業開発、 WeCharge 電気自動車充電サービスと連携し充電管理、充電課題を解決

2021年6月4日
株式会社東光高岳
ユビ電株式会社

株式会社東光高岳（以下、東光高岳）とユビ電株式会社（以下、ユビ電）は、電気自動車の充電サービスの構築を担うコントローラ「WeCharge HUB(ウィーチャージハブ)」を協業開発し、2021年6月より販売を開始します。本製品とEV充電設備を接続し、WeCharge 電気自動車充電サービスと連携することによって、充電管理を遠隔で制御し、充電の認証課金を実現しました。

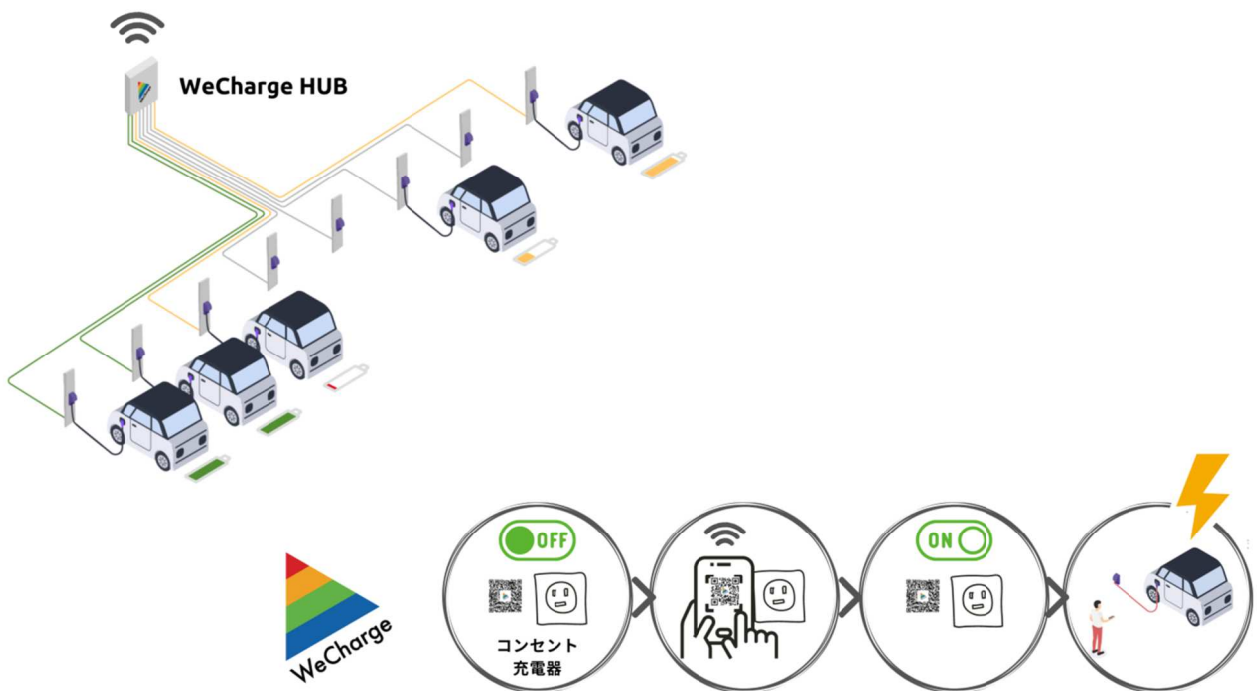
WeCharge HUBは、多種多様なエネルギー計測機能を実装したネットワーク型のコントローラである東光高岳製「エコ.Web 5®」に専用設定を行い、ユビ電の WeCharge 電気自動車充電サービスとクラウド連携したIoT型の充電認証課金コントローラとなります。WeCharge HUBは、遠隔スイッチや各種センサー等が連携動作することで、EV充電設備を設置した駐車場において多様な充電管理、充電課金の課題を解決することが可能となります。

WeCharge 電気自動車充電サービスの特長は、以下の通りとなります。

- 充電設備において WeCharge HUB 一つあたり最大 8 個の EV コンセント（EV 充電器含む）の遠隔制御、充電管理、課金運用が可能です。
- 充電場所で EV 充電に使用可能な電力量を考慮し、同時充電可能台数を制御します。多数の EV 充電コンセント（主に 200V）設置時も、施設に過度な負担をかけない柔軟な設定が可能です。
- スマートフォン（WeCharge アプリ）で QR コードを読み込むことで充電が開始されます。EV コンセント（主に 200V）を通電しない状態にし、認証時のみ通電可能な設定にすることができます。
- 充電時に認証し、コンセントや充電器を「使った人が使った充電料金を負担」する受益者負担が簡単に実現します。
- これにより、今まで「おうち充電」しかかったマンション居住者も充電可能となり、且つ課金システムもシンプルなたためマンション管理組合様などへの負担もありません。

今後も、東光高岳とユビ電は、充電インフラ関連事業の拡大を通じて、電気自動車の普及を促進し、カーボンニュートラルの実現に向けた社会課題の解決に貢献して参ります。

以上



<WeCharge HUB による WeCharge 電気自動車充電サービスのイメージ>

- ※ 「エコ Web.5®」は、株式会社東光高岳の登録商標です。
「ユビ電」と「WeCharge」は、ユビ電株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問合せ先
株式会社東光高岳 EV インフラ事業推進プロジェクト
電話：03-6371-5106、メールアドレス:esolution@tktk.co.jp
ユビ電株式会社 広報担当:南 電話:03-6822-8851、メールアドレス:press@ubiden.com